

007 / ゴールデンアイ (1995)

GOLDENEYE

メディア 映画

ジャンル アクション

製作国 イギリス / アメリカ

色彩 Color

時間 130分

初公開日 1995/12/16

公開情報 U A = U I P

映倫 G

【解説】

「007 / 消されたライセンス」以来、6年のブランクをおいて製作された新生007の第1弾。殆どのスタッフ・キャストを一新させた意欲作で、5代目のジェームズ・ボンドには、以前より噂のあったP・ブロスナン（TV「レミントン・スティール」）が選ばれ、監督にはTV「刑事ロニー・クレイブン」で注目を集めアクション大作「ノー・エスケイプ」で全米ヒットを飛ばしたM・キャンベルがあたった。“ゴールデンアイ”と呼ばれる電磁波攻撃用の衛星システムをめぐる、ヨーロッパから南米へと飛び交うボンドの活躍を描く。

「007 / 私を愛したスパイ」以降、どんどんジリ貧になっていくシリーズを憂えての判断だが、その新たな方向性は正しかったと言えるだろう。すでに死語と化している“スパイ”を現代で大活躍させるという、そのリアリティと絵空事のバランスは申し分なく、普通の刑事や警官が大惨劇を独りで救うという作品を見馴れた分には、ヒーロー然とした主人公の持つケレン味は心地よい。旧ソ連で展開されるオープニング、ペテルブルグの戦車チェイス、クライマックスのスペクタクル（「サンダーバード」などで天才的なミニチュア・ワークを見せたデレク・メディングスの遺作となった）とアクション・シーンも好調。ブロスナンは線の細さを残すものの、若々しく新鮮なボンド像を提供している。女優陣では、ボンドに協力するロシアのコンピュータ技師に扮し最初から最後まで爆破せめに合うI・スコルプコも悪くないものの、色情狂めいた野性味あるF・ヤンセンの悪女ぶりがいい。上司Mも女性に代わり、とにかく“新しい007”にこだわったスタッフの健闘が光る。そして、唯一ヘンな秘密兵器ばかり造っているQ（D・リュウエリン）の姿に、従来のファンは嬉しくなるだろう。リュック・ベッソンとのコンビでお馴染みのE・セラによる音楽も、控え目ながら好印象を残す。主題歌はティナ・ターナー。

【クレジット】

監督	マーティン・キャンベル	Martin Campbell
製作	マイケル・G・ウィルソン	Michael G. Wilson
	バーバラ・ブロッコリ	Barbara Broccoli
原案	マイケル・フランス	Michael France
脚本	ジェフリー・ケイン	Jeffrey Caine
	ブルース・フィアスティン	Bruce Feirstein
撮影	フィル・メヒュー	Phil Meheux
特撮	デレク・メディングス	Derek Meddings
編集	テリー・ローリングス	Terry Rawlings
音楽	エリック・セラ	Eric Serra
主題歌	ティナ・ターナー	Tina Turner

テーマ曲	モンティ・ノーマン	Monty Norman	
出演	ピアース・ブロスナン	Pierce Brosnan	ジェームズ・ボンド
	シヨン・ビーン	Sean Bean	アレック・トレヴェリヤン
	イザベラ・スコルプコ	Izabella Scorupco	ナターリヤ・シモノヴァ
	ファムケ・ヤンセン	Famke Janssen	ゼニア・オナトップ
	ジョー・ドン・ベイカー	Joe Don Baker	ジャック・ウェイド
	チェッキー・カリヨ	Tcheky Karyo	ドミトリ・ミシュキン
	ゴットフリード・ジョン	Gottfried John	オウルモフ将軍
	アラン・カミング	Alan Cumming	ボリス・グリシェンコ
	セレナ・ゴードン	Serena Gordon	キャロライン
	デスモンド・リュウェリン	Desmond Llewelyn	Q
	サマンサ・ボンド	Samantha Bond	ミス・マネーペニー
	ジュディ・デンチ	Judi Dench	M
	ミニー・ドライヴァー	Minnie Driver	イリーナ
	ロビー・コルトレーン	Robbie Coltrane	ヴァレンティン・ドミトロヴィッチ・ズコフスキー